

ECO

ACTION

21



MAJOR VENOUS JAPAN
メジャー ヴィーナス・ジャパン

環境経営レポート 2024年度版

対象期間：2024年4月～2025年3月

発行日：2025年7月1日

- 目次 -

I.	組織の概要	P.2~14
II.	対象範囲と実施体制	P.15
III.	環境経営方針	P.16
IV.	環境経営目標の実績	P.17~28
V.	中期環境経営目標	P.29
VI.	環境経営計画の評価と次年度の取組内容	P.30~31
VII.	社内ポスターの掲示について	P.32
VIII.	社内貢献活動	P.33~34
IX.	環境関連法規等の遵法状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.35~37
X.	代表者による全体の評価	P.38

組織の概要

2025.3 時点

名称及び代表者

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社

代表取締役 渡辺 弘三

所在地

東京エコファクトリー（本社） 東京都江東区新木場4丁目2番21号

八丁堀事務所 東京都中央区湊一丁目1番12号 HSB鐵砲洲3階

設立

2015年12月10日

役員等の氏名

代表取締役	渡辺 弘三	2019年5月29日就任	常勤
取締役	大塚 健護	2015年12月10日就任	非常勤
監査役	釘宮 新一	2015年12月10日就任	非常勤

資本金

1億円

事業内容

鉄・非鉄・金属等の買取・販売

産業廃棄物の収集運搬業、産業廃棄物の中間処理業



組織の概要

2025.3 時点

2015.12.10	東京都千代田区大手町1-7-2にメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社を設立
2016.10.7	東京都において古物商の許可を取得
2016.10.28	東京都において産業廃棄物処分業の許可を取得
2016.11.1	東京都江東区新木場4-2-21にメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 東京エコファクトリーを開設
2016.11.7	東京都において第一種フロン類充填回収業者登録
2016.12.26	埼玉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
2017.1.20	茨城県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
2017.2.6	神奈川県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
2017.2.8	千葉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
2017.2.10	東京都において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
2017.5.29	東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（石綿含有産業廃棄物）
2017.5.29	東京都において特別管理産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（廃石綿等）
2017.8.31	三重県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を取得
2017.12.26	東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（汚泥、金属くず） 東京都において産業廃棄物処理業 圧縮梱包処理を追加
2018.3.22	東京都において産業廃棄物処理業 圧縮梱包処理の種類の追加（ゴムくず）、破碎処理を追加（廃蛍光ランプ）
2018.7.5	東京都において産業廃棄物収集運搬業の変更許可を取得 積替え保管の追加（積替え保管の保有量の変更（石綿含有産業廃棄物））
2021.10.28	東京都において産業廃棄物処分業の許可更新 優良認定取得
2021.12.27	埼玉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を更新 優良認定取得
2022.3.29	千葉県において産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業の許可を更新 優良認定取得
2022.3.31	東京都において廃棄物再生事業者登録 金属くずの再生事業
2022.4.1	八丁堀事務所を開設
2023.4.1	東京都江東区新木場4-2-21のメジャーヴィーナス・ジャパン株式会社東京エコファクトリーに本社移転
2024.4.22	八丁堀事務所を東京都中央区湊一丁目1番12号 HSB鐵砲洲3階へ移転

組織の概要

2025.3 時点

事業の規模

【役員数】 3名（常勤 1名）

【従業員数】 57名

【売上高】 2,923百万円

東京エコファクトリー	事務所	17名
	現場	24名
八丁堀事務所 (2024年4月1日時点)		16名

※第10期決算（2024年4月～2025年3月）

【面積】 建物面積 3804.48m²

土地面積 6611.57m²

A棟事務所	234.60m ²
B棟事務所	74.50m ²
A棟工場	1763.30m ²
B棟工場	1485.00m ²
八丁堀 HSB鐵砲洲 3階	247.08m ²

【積替保管施設】

積替え保管面積：4,100.00m²

最大保管高さ：2.59m

積替保管廃棄物の種類	保管量
廃石綿等	コンテナ1個 30.00m ³
汚泥、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物に限る）	コンテナ3個 77.60m ³
汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物を除く）に限る。）	ドラム缶1個 0.20m ³
汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物）に限る。）	ドラム缶2個 0.40m ³
廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（廃蛍光ランプ（水銀使用製品産業廃棄物）に限る）（破損したものに限る。）	ドラム缶3個 0.60m ³

事業の規模

圧縮	
廃プラ	187 t/日
金属くず	390 t/日
混合処理能力	501 t/日

圧縮梱包	
廃プラ	1095 t/日
紙くず	1251 t/日
繊維くず	562 t/日
ゴムくず	1628 t/日
金属くず	3538 t/日
混合処理能力	1084 t/日

切断	
廃プラ	295 t/日
木くず	271 t/日
金属くず	1132 t/日
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	616 t/日
混合処理能力	830 t/日

破碎 (廃蛍光ランプ(水銀使用製品産業 廃棄物))に限る	
・ 廃プラ ・ 金属くず ・ ガラス ・ コンクリート ・ 陶磁器くず ・ 混合処理能力	19200 本/日



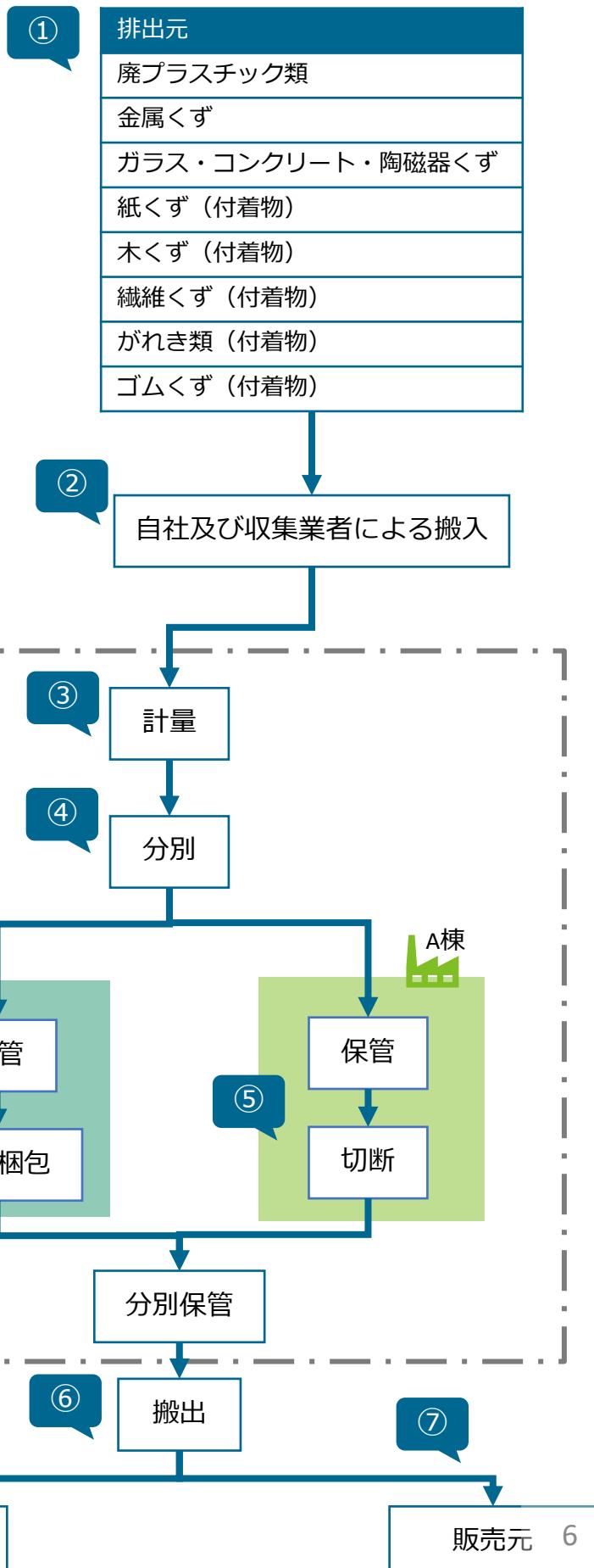
組織の概要

2025.3 時点

事業の規模

【圧縮梱包・切斷工程】

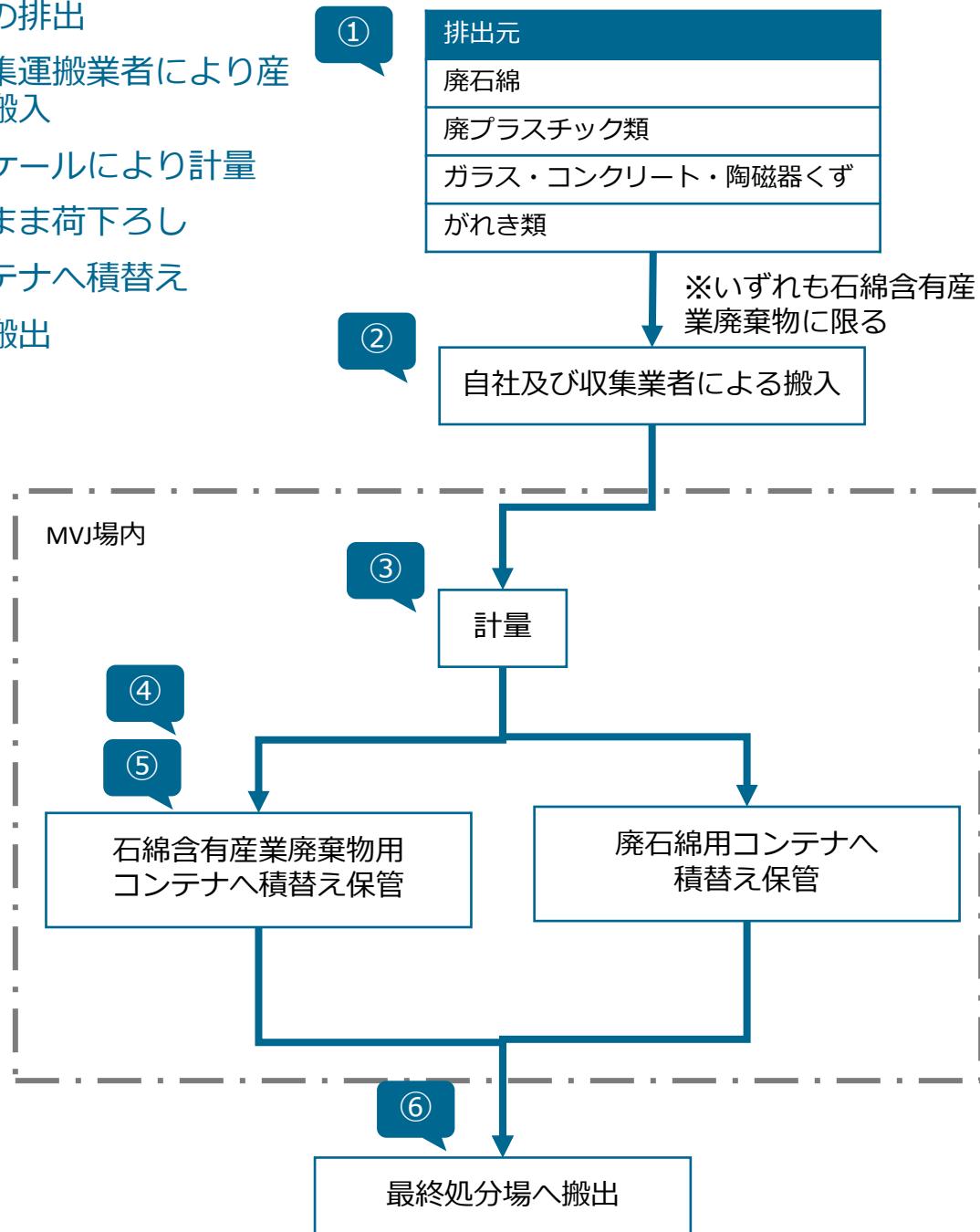
- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 種類ごとの分別
- ⑤ プレス機により圧縮・シャーリングによる切斷
- ⑥ 自社又は他社により搬出
- ⑦ 販売又は最終処分場へ搬出



事業の規模

【積替保管工程（石綿含有産業廃棄物及び廃石綿）】

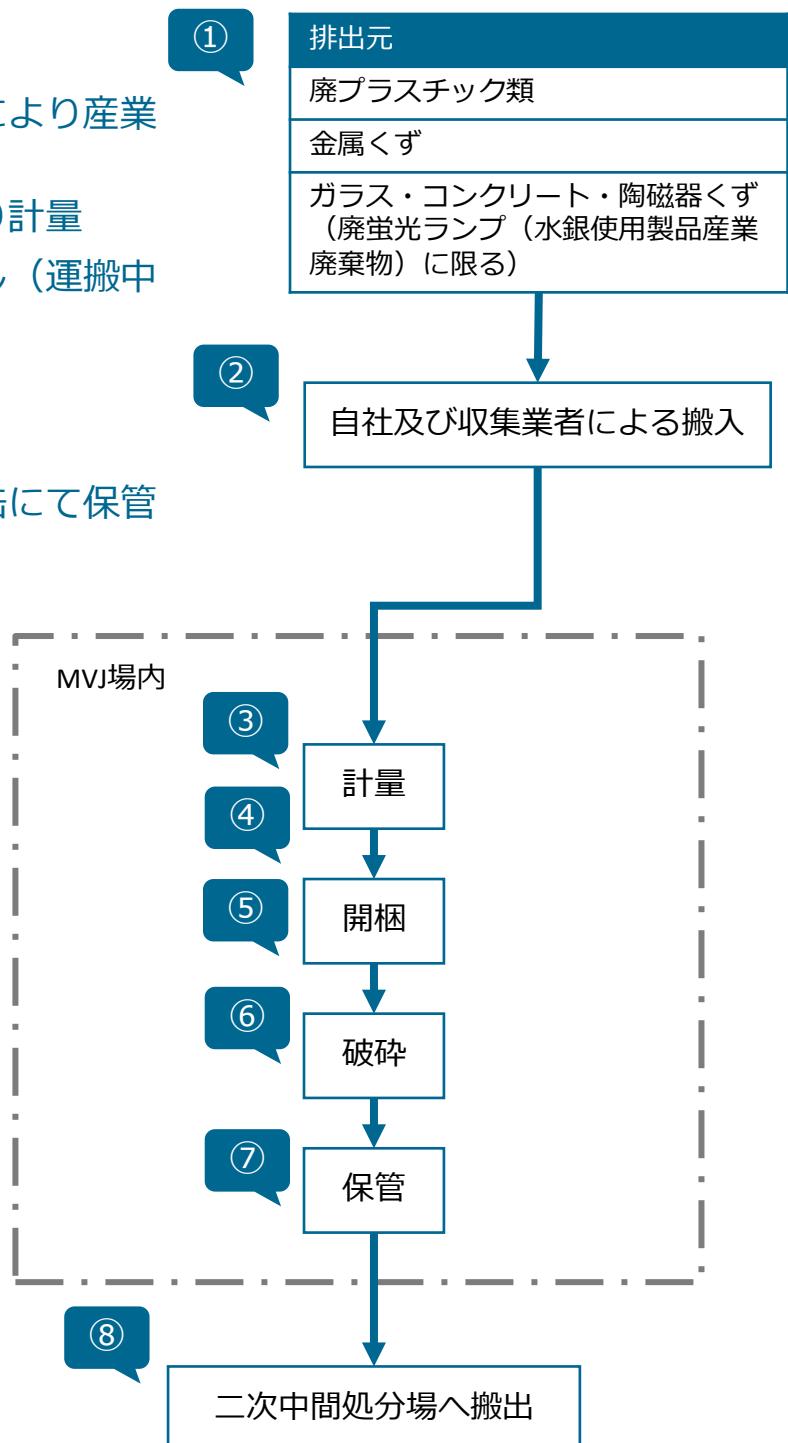
- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 框包状態のまま荷下ろし
- ⑤ 保管用コンテナへ積替え
- ⑥ 自社による搬出



事業の規模

【破碎工程（廃蛍光ランプ）】

- ① 産業廃棄物の排出
- ② 自社及び収集運搬業者により産業廃棄物の搬入
- ③ トラックスケールにより計量
- ④ 梱包状態のまま荷下ろし（運搬中に割れないように梱包）
- ⑤ 開梱し、保管
- ⑥ 破碎機による破碎
- ⑦ 破碎後廃棄物をドラム缶にて保管
- ⑧ 他社による搬出



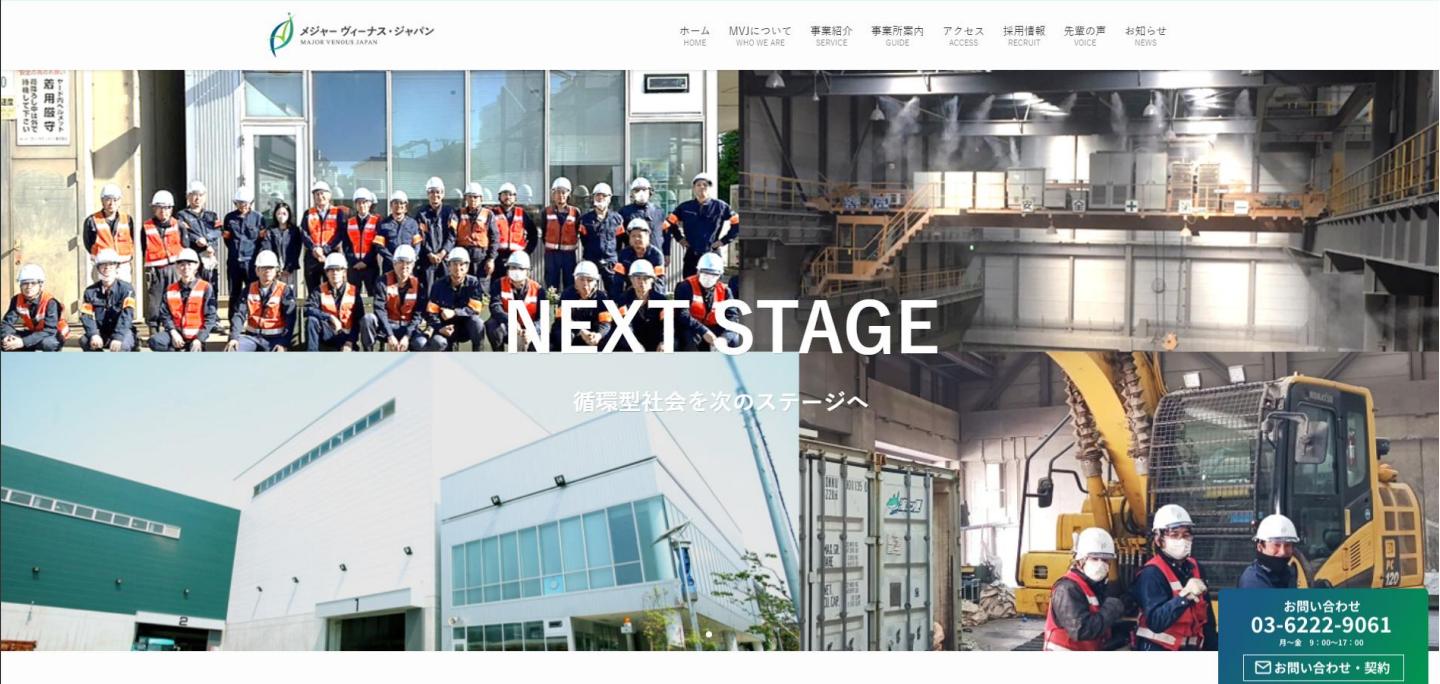
事業の規模

処理実績（2024年4月～2025年3月）

収集運搬量	2,002.54 t
中間処理量	18,338.43t
スクラップ量	24,161.97 t

自社ホームページURL

 <https://major-venous.co.jp>



メジャー・ヴィーナス・ジャパン
MAJOR VENOUS JAPAN

ホーム HOME MVJについて WHO WE ARE 事業紹介 SERVICE 事業所案内 GUIDE アクセス ACCESS 採用情報 RECRUIT 先輩の声 VOICE お知らせ NEWS

NEXT STAGE

循環型社会を次のステージへ

お問い合わせ
03-6222-9061
月～金 9:00～17:00

お問い合わせ・契約

事業登録

許可都道府県：東京都

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物処分業	13-20-190368	R3.10.28	R10.10.27	廃プラスチック類、紙くず、木くず、纖維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ゴムくず
産業廃棄物収集運搬業	13-10-190368	R4.2.10	R11.2.9	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、纖維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん、政令13号
特別管理産業廃棄物収集運搬業	13-60-190368	R4.2.10	R11.2.9	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等
古物商	3011316 06619	H28.10.7	なし	
再生事業者登録	370	R4.3.31	なし	金属くず
第一種フロン類充填回収業	1310542 8	H28.11.7	R8.11.6	CHC、HCFC、HFC

組織の概要

2025.3 時点

事業登録

許可都道府県：千葉県



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0120019 0368	R4.3.29	R11.2.7	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0125019 0368	R4.3.29	R11.2.7	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

許可都道府県：神奈川県



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0140019 0368	R4.5.16	R11.2.5	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0145019 0368	R4.5.16	R11.2.5	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

事業登録

許可都道府県 : 埼玉県



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0110019 0368	R3.12.27	R10.12.25	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0115019 0368	R3.12.27	R10.12.25 7	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

許可都道府県 : 茨城県



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0080119 0368	R4.4.28	R11.1.19	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ばいじん
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0085119 0368	R4.4.28	R11.1.19	廃油、廃酸、廃アルカリ、廃石綿等

事業登録

許可都道府県：三重県



許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限日	許可の範囲
産業廃棄物収集運搬業	0240019 0368	R4.8.31	R11.8.30	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、紙くず、木くず、纖維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、ばいじん、処理するために処理したもの
特別管理産業廃棄物収集運搬業	0245019 0368	R4.8.31	R11.8.30	引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃石綿等

組織の概要

2025.3 時点

使用車両等

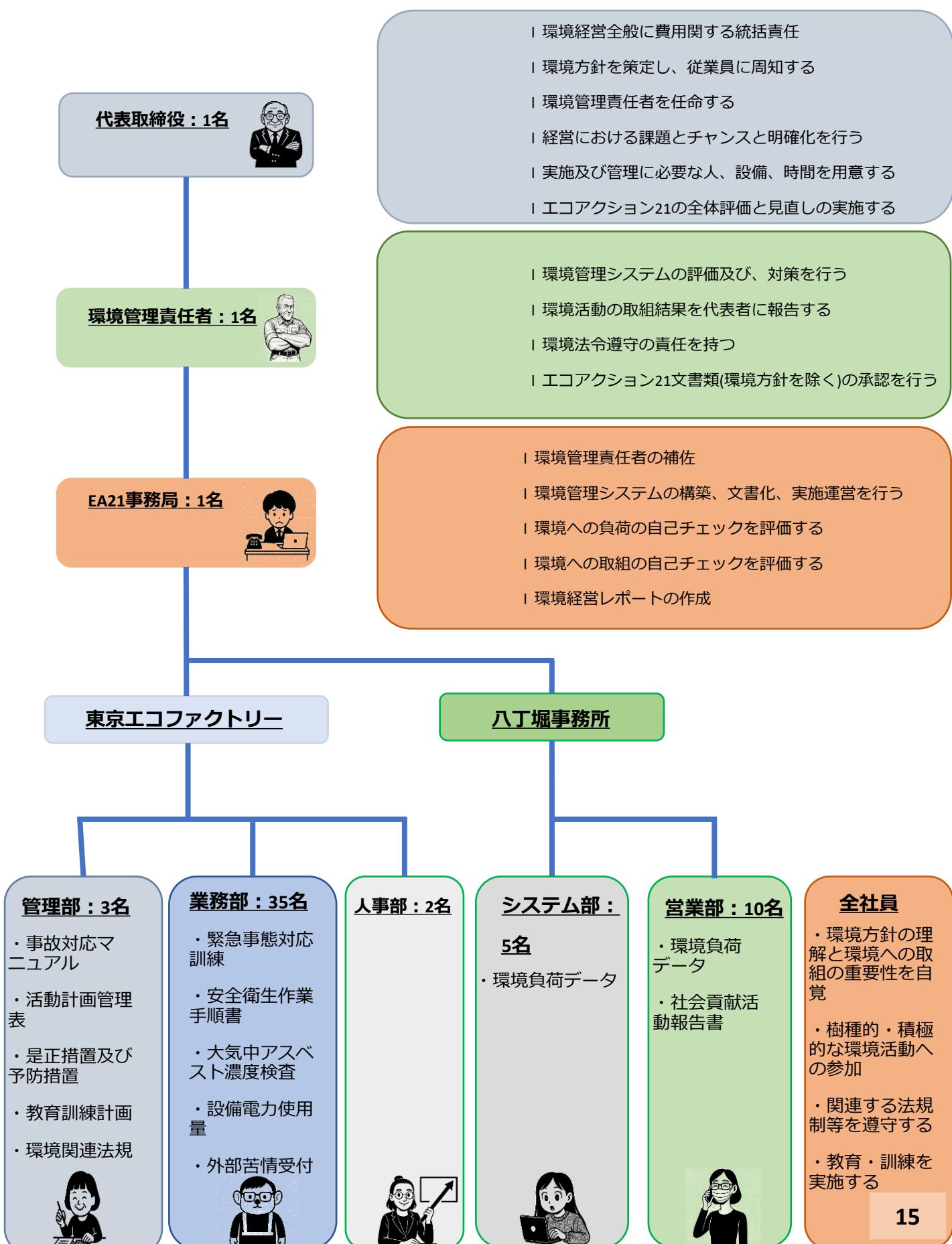
- ①社用車 4台 (リースアップにより2台入替実施)
- ②収集運搬車 7台
- ③重機 8台



車種	車両用途	燃料	車両番号
トヨタ シエンタ	社用車	ガソリン+電気	3056
トヨタ プリウス PHV	社用車	ガソリン+電気	922
トヨタ アクア (2025年2月から利用)	社用車	ガソリン+電気	5830
トヨタ アクア (2025年2月から利用)	社用車	ガソリン+電気	5841
日産 ノート (2025年2月まで利用)	社用車	ガソリン+電気	5569
日産 ノート (2025年2月まで利用)	社用車	ガソリン+電気	1956
いすゞ 2tダンプ	収集運搬車	軽油	7725
日野 トレーラー	収集運搬車	軽油	29
ボルボ トレーラー	収集運搬車	軽油	27
ボルボ トレーラー	収集運搬車	軽油	21
いすゞ 4tパワーゲート	収集運搬車	軽油	521
三菱 ヒアブ	収集運搬車	軽油	8059
いすゞ 4tアームロール	収集運搬車	軽油	4392
コマツ バッテリフォークリフト×4台	重機	電気	
コマツ ユンボ (0.45m³)	重機	軽油 (GTL)	
日立 ユンボ (0.70m³)	重機	軽油 (GTL)	
住友建機 マグネユンボ (0.90m³)	重機	軽油 (GTL)	
住友建機 マグネユンボ (0.70m³)	重機	軽油 (GTL)	

対象範囲と実施体制

2024.4.1時点



<基本理念>

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は深刻さを増し、それへの対応は人類共通の重要課題となっている。

このような状況に対し、メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社では、リサイクル事業と廃棄物処理事業の推進により循環型社会の形成に貢献することが総合リサイクル業としての社会的使命であると認識し、そのため、全従業員が一体となり地球環境及び地球環境の保全と環境負荷の低減に向けて積極的な施策を推進し、日々の業務に取り組む。

<活動指針>

1 エコアクション21に適合するマネジメントシステムを運用し、継続的に改善するとともに、環境改善に努める。

2 当社の業務に関する法的要件事項及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。

3 業務を通して一人ひとりが知恵を出し合い、以下に取り組む。

- ①資源回収推進とリサイクルの高度化
- ②地域社会への貢献
- ③省資源・省エネルギー化の推進（カーボンニュートラル）
- ④環境に配慮した製品の購入

4 環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、公表する。環境方針は、全従業員に周知徹底し、かつ、一般の方に公開する。

制定 2017年5月1日
改定 2019年7月1日
2022年4月1日
2023年4月1日

環境経営目標の実績

2024年目標値と実績の比較一覧

項目	2024年実績	2024年目標	判定	評価
総搬入量 (t) (有価物 + 廃棄物 + 石綿)	44,844.53	62,132.00		目標未達成。 収集運搬車両軽油の増加が起因し、排出二酸化炭素量が増えている。
温室効果ガス排出量	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	369,512.63	306,508.00	△
	原単位換算 (kg-CO ₂) /t	8.23 (166.93%)	4.93	原単位が大きく変化しているのは重量の大部分を占めるスクラップが前年比26%程減少したのも要因である。
リサイクル率	(有価物搬入量 + リサイクル量) ÷(廃棄物搬入量 + 有価物搬入量)	96.61%	70.00%	○
エネルギー使用量 <small>※燃料の合計値はあくまで参考値</small>	購入電力 (kWh) (下段八丁堀)	986,360.00 27,032.00	1,136,063.00 11,888.00	△
	原単位換算 (下段八丁堀) kWh/t kWh/人	42.96 (138.89%) 1,689.50 (198.99%)	30.93 849.00	△
	ガソリン (L)	1,537.98	1,734.36	○
	原単位換算 L/台	384.49 (88.67%)	433.59	目標達成。 前年比より利用量は減少傾向。 単純に利用量が目標より下回った為。

判定の基準を以下とする。

○ (2点) 目標達成

△ (1点) 目標未達成であるが原因が予想される

× (0点) 目標未達成かつ原因不明確

今年度判定：11点/16点

環境経営目標の実績

2024年目標値と実績の比較一覧

項目	2024年実績	2024年目標	判定	評価
エネルギー使用量 ※燃料の合計値はあくまで参考値	燃料 (L) ※参考値 ([a][b]トータル)	147,435.05	113,213.00	△ GTLと車両燃料ともに目標未達成。重量の主体であるスクラップの搬入量減少によりGTLの原単位換算しても上昇傾向にある。前年比でも車両燃料の利用が上昇しているが、原単位はそれほど変化がないため、必要量を適切に利用できていると考える。
	[a] GTL燃料 (L) 《工場軽油》	76,504.30	77,221.00	
	原単位換算 L/t	1.71 (137.90%)	1.24	
	[b] 車両燃料 (L)	70,930.75	36,002.00	
	原単位換算 L/km	0.35 (106.06%)	0.33	
	都市ガス (m³)	6.00	123.00	○ 目標達成。設備変更による数値変化がより大きく結果に反映された。CO2排出量を抑えるうえでは良い結果となった。
	原単位換算 m³/人	0.11 (3.84%)	2.86	
	灯油 (L)	954.00	596.00	△ 目標未達成。人数や夜勤の動きが多くなり目標値よりだいぶ多くなっている。原単位でも上昇がみられるが利用量の割には抑えられていると思う。
	原単位換算 L/人	16.74 (120.86%)	13.85	
水使用量	上下水道 (m³)	1,609.00	1,232.00	△ 目標未達成。原単位換算は同様の水準だが、利用量のみが上昇してしまっているため、要因が人数的変化によるものなのか様子見する必要がある。
	原単位換算 m³/人	28.23 (98.53%)	28.65	

判定の基準を以下とする。

○ (2点) 目標達成

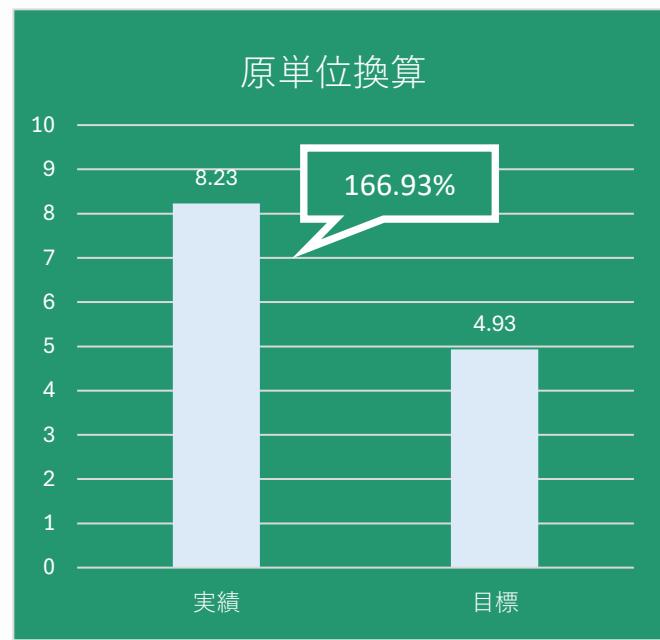
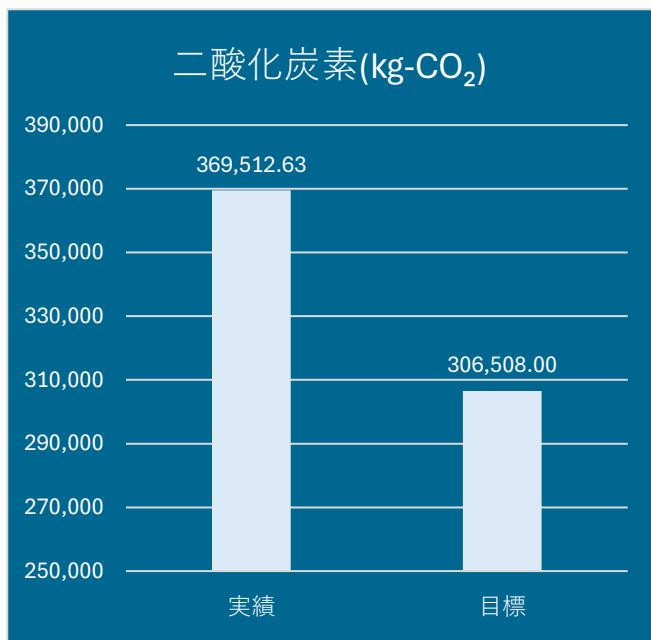
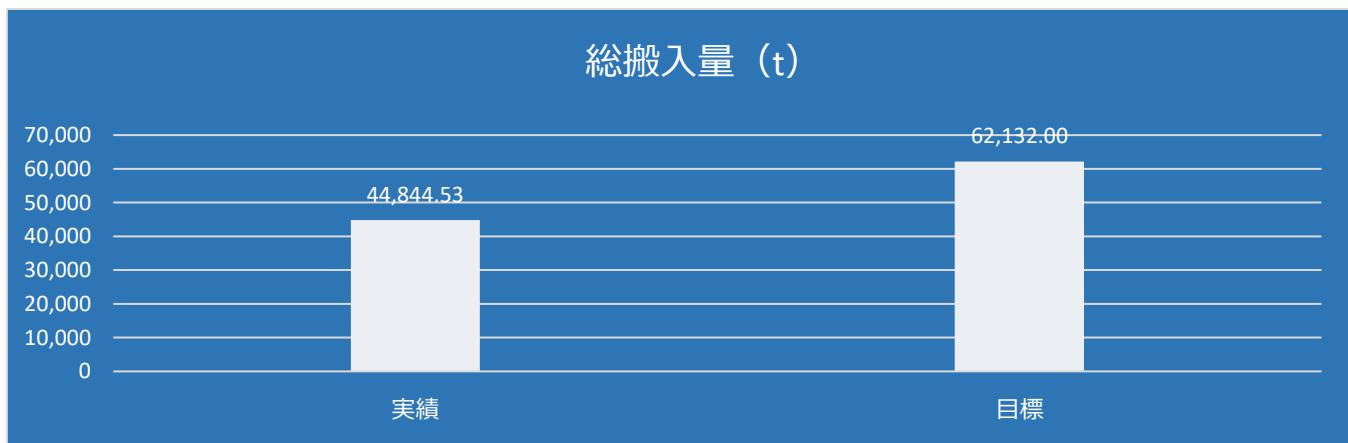
△ (1点) 目標未達成であるが原因が予想される

× (0点) 目標未達成かつ原因不明確

今年度判定：11点/16点

環境経営目標の実績

項目	2024年実績	2024年目標
総搬入量 (t)	44,844.53	62,132.00
温室効果ガス排出量	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	306,508.00
	原単位換算	8.23 (166.93%)

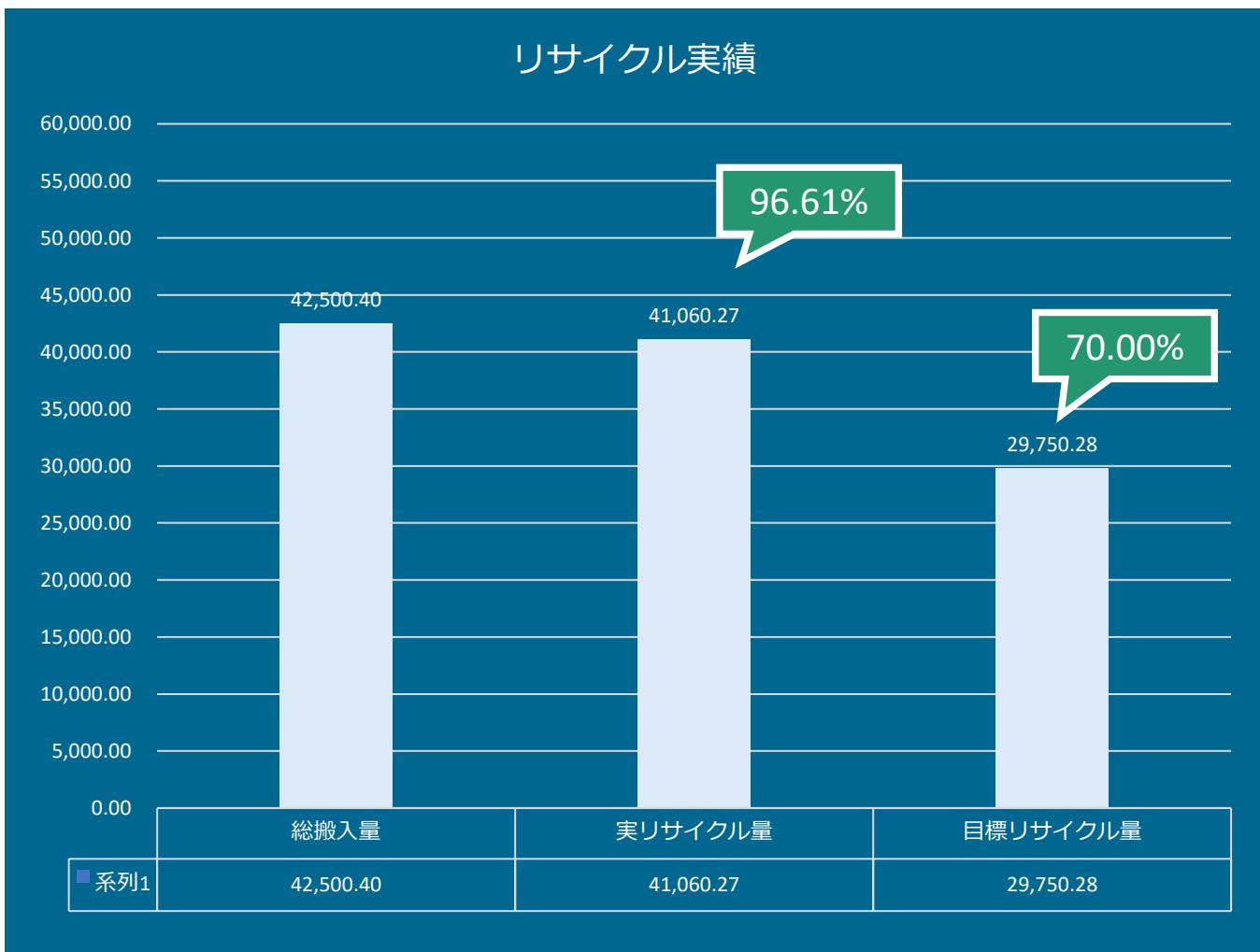


※二酸化炭素(kg)/総搬入量(t)

判定	評価
△	目標未達成。 収集運搬車両軽油の増加が起因し、排出二酸化炭素量が増えている。原単位が大きく変化しているのは重量の大部分を占めるスクラップが前年比26%程減少したのも要因である。

環境経営目標の実績

項目	2024年実績	2024年目標
リサイクル率 (有価物搬入量+リサイクル量)÷(有価物搬入量+廃棄物搬入量)	96.61%	70.00%
リサイクル量 (t)	41,060.27	
搬入量 (t) 有価物 (鉄+非鉄)	24,161.97	
	廃棄物	18,338.43



判定	評価
○	目標達成。 70%での目標策定。 搬入された廃棄物より積極的に鉄,非鉄を選別を行うことで リサイクル率90%超えと目標を大きく超えた結果となった。

環境経営目標の実績

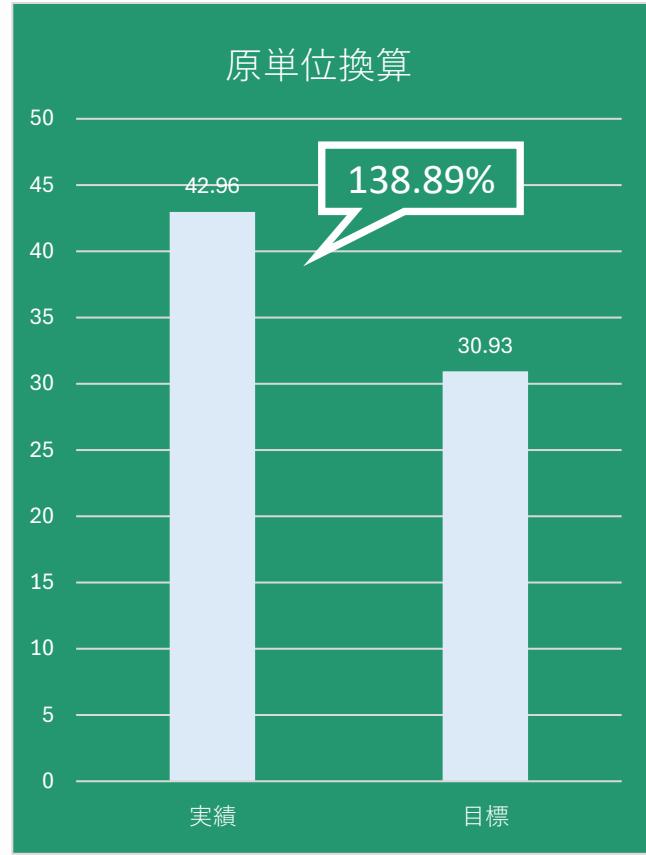
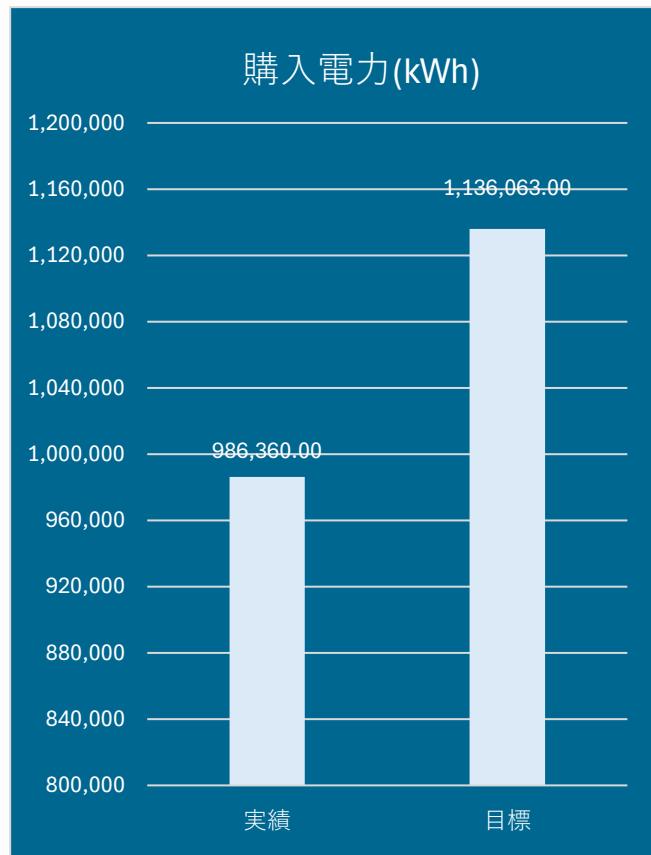
電力 新木場工場分

項目	2024年実績	2024年目標
エネルギー使用量	購入電力 (kWh)	986,360.00
	原単位換算	42.96 (138.89%)

CO2排出係数(kg-CO2/kWh)

0

※2021年5月より100%再生可能エネルギーを利用しているため、CO2の排出係数は0。



※購入電気量(kWh)/金属スクラップ受入(t)

判定	評価
△	購入電力は目標達成。 原単位換算すると目標未達成。 スクラップ搬入総量の減少により原単位の増加が起こっている。 使用数値のみだと全体要因と捉えられるので、次年度より目標再考予定。

環境経営目標の実績

電力 八丁堀事務所分

※目標を計測から 3 %減少での設定

項目	2024年実績	2024年目標
エネルギー使用量	購入電力 (kWh)	27,032.00
	原単位換算	1,689.50 (198.99%)
	CO2排出量 (kg-CO2/kWh)	0 (12,110.34) 4,469(係数0.376)

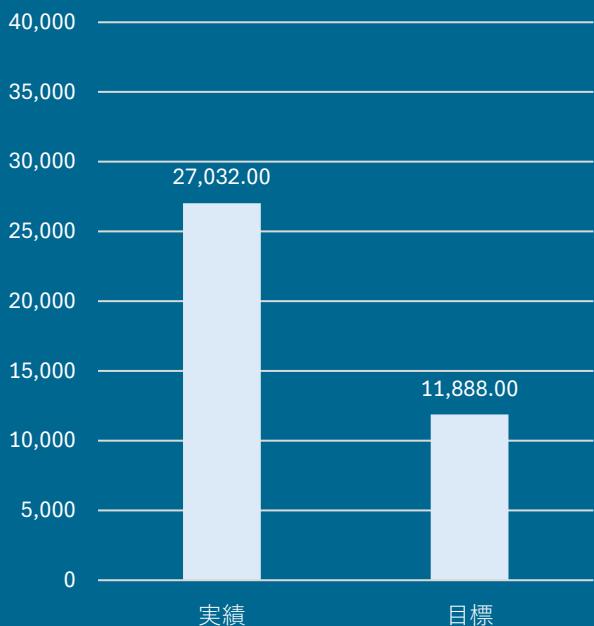
CO2排出係数(kg-CO2/kWh)

0.448 (四国電力)

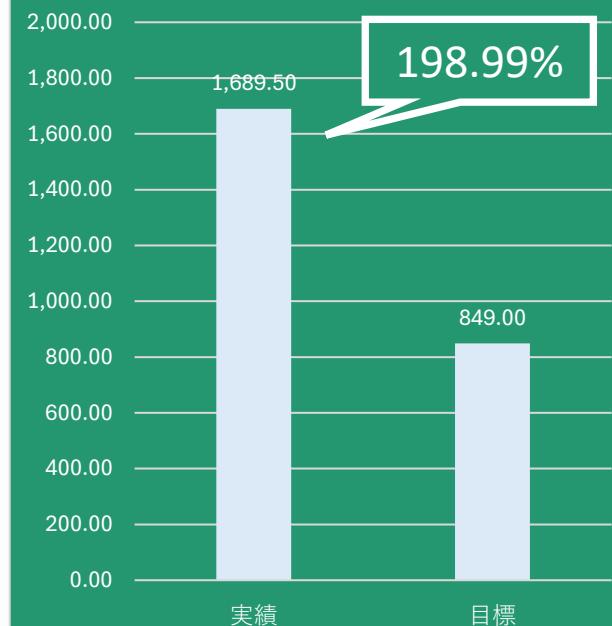
※原単位計算 購入電気量(kWh)/八丁堀事務所所属従業員数

※非化石証書の購入(30,000kWh分)で再エネ化しCO₂排出量を0へ

購入電力(kWh)



原単位換算



判定

評価



目標未達成。

利用電力の上昇の傾向にある。テナントビルの為、電力請求は共有部も含んだものとなっているが、八丁堀のオフィスでも引き続き節電に取り組んでいく。

※事務所個別評価

環境経営目標の実績

電力 八丁堀事務所分 非化石証書の購入



発行日：2025年3月12日
発行者：一般社団法人日本卸電力取引所
証書番号：A016090

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 殿

非化石証書

当非化石価値は**2024**年4月から**2025**年3月までに使用した電力に対して活用が可能です。

証書種別	FIT
非化石価値	30,000 kWh

事業所情報

法人番号	3010001172306
事業所名	メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社八丁堀事務所
需要場所	
備考	

内訳

発電設備区分	非化石価値	(内、運転後15年未満)
水力	30,000 kWh	30,000 kWh



二次元コードを読み取ることで、保有している非化石価値の設備に関する詳細をご確認いただけます。

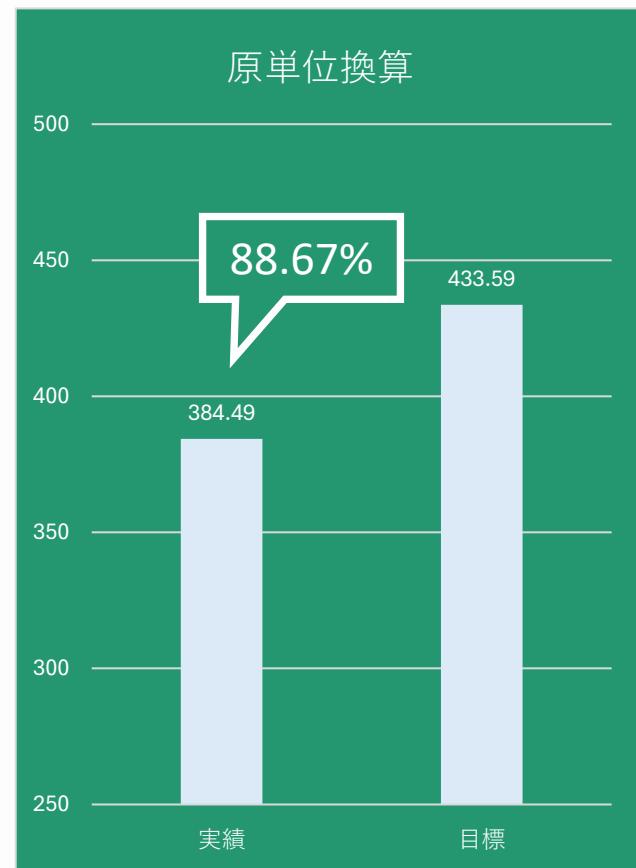
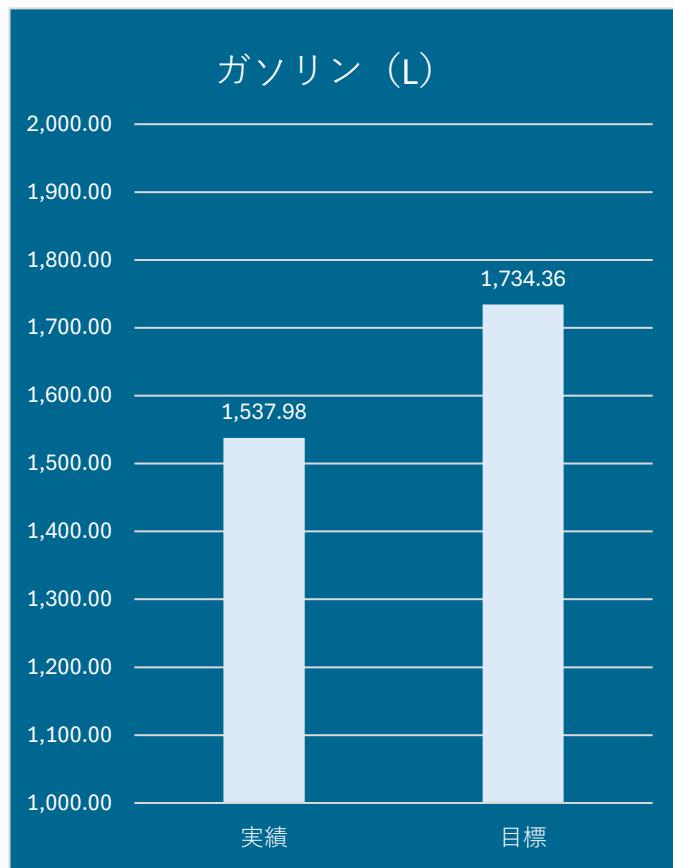
環境経営目標の実績

項目	2024年実績	2024年目標
エネルギー使用量	ガソリン (L)	1,734.36
	原単位換算	433.59
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	3,568.11

CO2排出係数(kg-CO2/L)

2.32

※ガソリン(L)/台数(台)



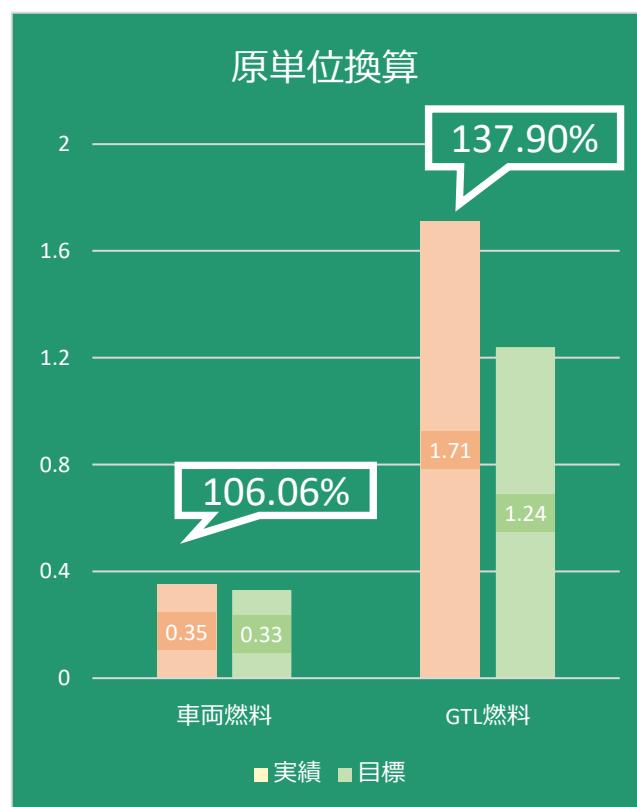
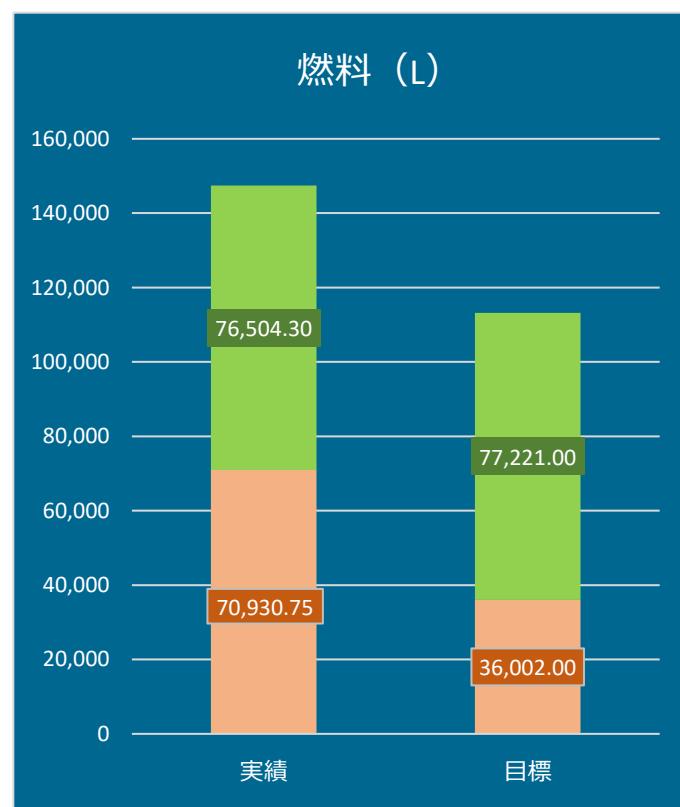
判定	評価
○	目標達成。 前年比より利用量は減少傾向。 単純に社用車の利用量や移動距離が減少している。

環境経営目標の実績

項目	2024年実績	2024年目標
エネルギー使用量 ※燃料の合計値は あくまで参考値	燃料 (L) ※参考値 ([a][b]トータル)	147,435.05
	[a] GTL燃料 (L)	76,504.30
	原単位換算	1.71 (137.90%)
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	180,550.14
	[b] 車両燃料 (L)	70,930.75
	原単位換算	0.35 (106.06%)
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	183,001.33

CO2排出係数(kg-CO2/L)	
軽油	GTL燃料
2.58	2.36

※GTL燃料(L)/総搬入量(t)
車両燃料(L)/運行距離(km)



判定	評価
△	GTLと車両燃料ともに目標未達成。 重量の主体であるスクラップの搬入量減少によりGTLの原単位換算しても上昇傾向にある。 前年比でも車両燃料の利用が上昇しているが、原単位はそれほど変化がないため、必要量を適切に利用できていると考える。

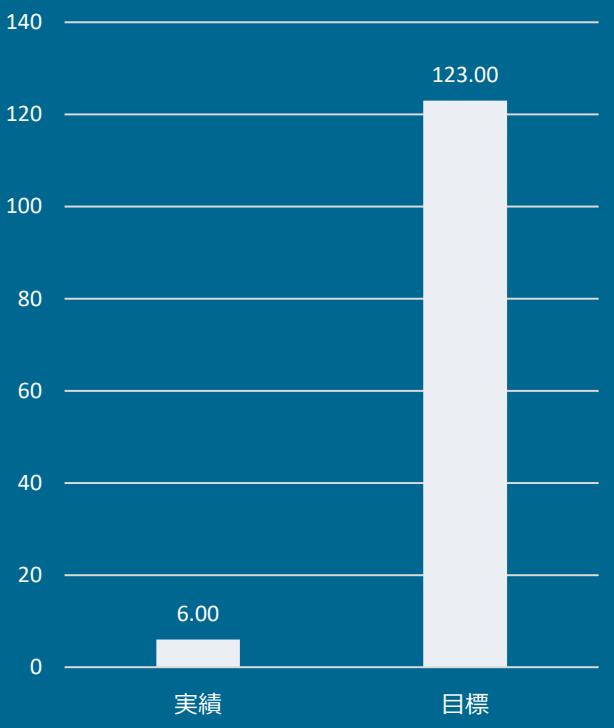
環境経営目標の実績

項目	2024年実績	2024年目標
エネルギー使用量	都市ガス (m^3)	6.00
	原単位換算	0.11(3.84%)
	CO ₂ 排出量 ($kg\text{-CO}_2/m^3$)	13.38

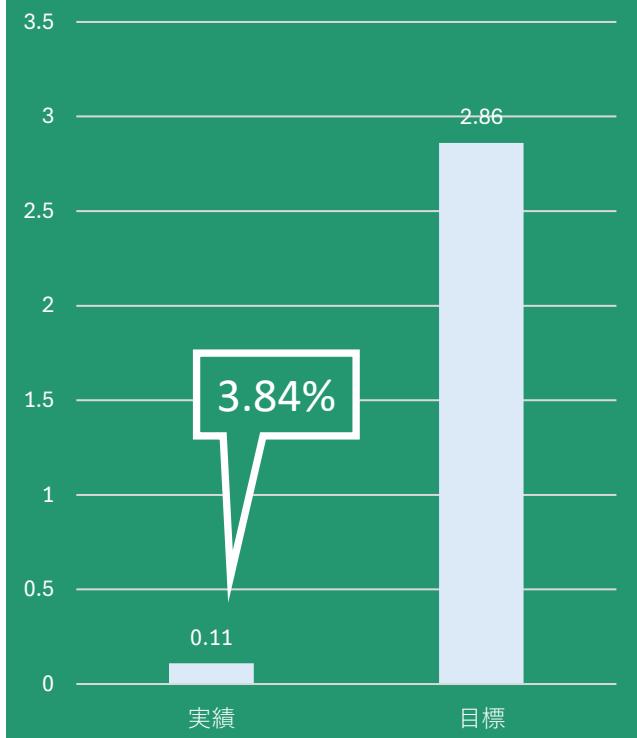
CO₂排出係数($kg\text{-CO}_2/m^3$)

2.23

都市ガス(m^3)



原単位換算



※都市ガス(m^3)/従業員数(人)

判定	評価
○	目標達成。 設備変更による数値変化がより大きく結果に反映された。 CO ₂ 排出量を抑えるうえでは良い結果となった。

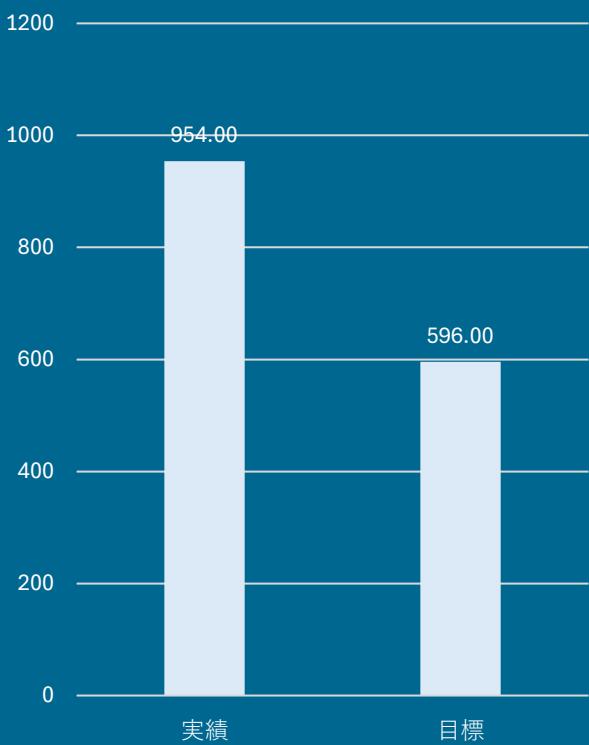
環境経営目標の実績

項目	2024年実績	2024年目標
エネルギー使用量	灯油 (L)	954.00
	原単位換算	16.74 (120.86%)
	CO2排出量 (kg-CO2/L)	2,375.46

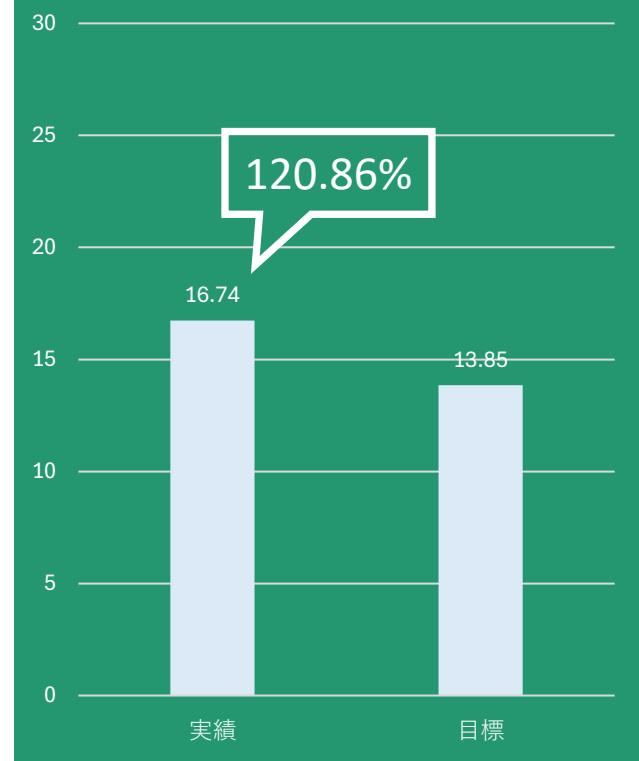
CO2排出係数(kg-CO2/L)

2.49

灯油(L)



原単位換算

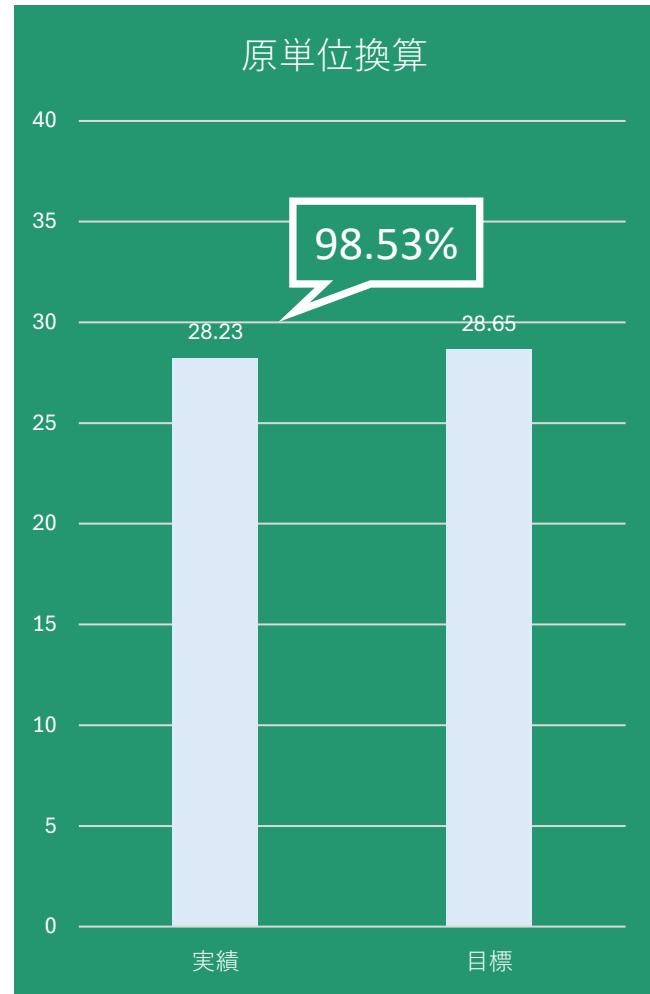
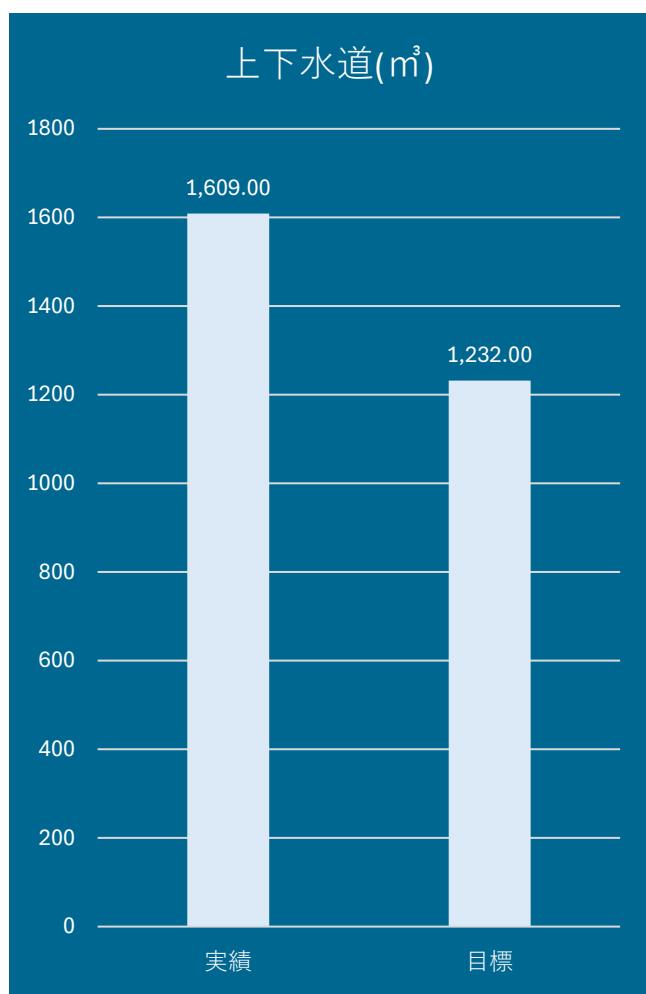


※灯油(L)/従業員数(人)

判定	評価
△	目標未達成。 人数や夜勤の動きが多くなり目標値よりだいぶ多くなっている。原単位換算でも上昇がみられるが利用量の割には抑えられていると思う。

環境経営目標の実績

項目	2024年実績	2024年目標
水使用量	上下水道 (m^3)	1,609.00
	原単位換算	28.23 (98.53%)



※上下水道(m^3)/従業員数(人)

判定	評価
△	目標未達成。 原単位換算は同様の水準だが、利用量のみが上昇してしまっているため、要因が人数的変化によるものなのか様子見する必要がある。

中期環境経営目標

中期目標（2024年度の実績を元に、2027年度までの目標を策定しました。）

項目	2024年度	各年度目標			
		2025年度	2026年度	2027年度	
	実績	基準年原単位 1%減	基準年原単位 2%減	基準年原単位 3%減	
総搬入量 (t)	44,844.53	45,101.70	39,206.88	38,580.00	
鉄搬入量(t)	22,961.22	20,025.00	18,500.00	17,800.00	
非鉄搬入量(t)	1,200.75	3,222.50	950.00	880.00	
混合廃棄物搬入量(t)	18,338.43	19,519.00	17,556.88	17,750.00	
アスベスト搬入量(t)	2,344.13	2,335.20	2,200.00	2,150.00	
リサイクル量(t)	41,060.27	41,000.00	35,800.00	35,250.00	
リサイクル率(%)	96.61%	95.87%	96.74%	96.76%	
温室効果ガス排出量 ※本社と八丁堀事務所は再エネ100%維持とする	二酸化炭素 (kg-CO2)	369,508.44	375,105.98	366,216.97	359,485.46
	原単位 (排出量/t)	16.89	17.97	17.69	17.30
エネルギー使用量 ※燃料の合計値はあくまで参考値	購入電力 (kWh) 新木場	986,360.00	858,068.00	748,125.66	729,250.00
	原単位 (kWh / 全t)	22.00	21.18	19.08	18.90
	購入電力 (kWh) 八丁堀	27,032.00	20,492.40	20,287.48	20,082.55
	原単位 (kWh / 人)	1,689.50	890.97	882.06	873.15
	ガソリン (L)	1,537.98	1,223.95	1,217.29	1,205.36
	原単位 (走行距離 / 利用量)	16.06	26.84	27.11	27.38
	燃料 (L) ※参考値 ([a][b]トータル)	147,435.05	150,761.63	147,014.68	144,242.64
	[a] GTL燃料 (L)	76,504.30	86,129.56	82,526.99	80,387.19
	原単位 (利用量/総搬入量)	1.71	2.13	2.10	2.08
	[b] 車両燃料 (L)	70,930.75	64,632.07	64,487.69	63,855.46
	原単位 (走行距離/利用量)	2.84	2.92	2.95	2.98
	都市ガス (m³)	6.00	4.00	4.00	4.00
	原単位 (利用量/新木場事務所人数)	0.14	0.08	0.08	0.08
水使用量	灯油 (L)	954.00	900.00	891.00	882.00
	原単位 (利用量/新木場事務所人数)	21.68	18.37	18.18	18.00
	上下水道 (m³)	1,609.00	1,519.99	1,504.79	1,489.59
	原単位 (利用量/全社人数)	26.82	23.75	23.51	23.27

※原単位は算出方法の再提起、図表にて記載。

※自社排出の廃棄物 新木場1日2袋、八丁堀週に2袋を維持できるよう努めています。

2024年度の環境経営計画における活動計画

項目	2024年度の取組内容
オフィス電力使用量の削減 (責任: 管理部)	<ul style="list-style-type: none">・使用していない時間の電灯の消灯・使用していない時間の電気機器の電源OFF・社内ポスターによる節電の呼びかけ
車両燃費の向上 (全社) (責任: 営業部)	<ul style="list-style-type: none">・社内ポスターによるエコドライブの呼びかけ・各社員への朝礼時の指導・運転時のエコモード設定
工場用電力使用量の削減 (責任: 業務部)	<ul style="list-style-type: none">・使用していない時間の電灯の消灯・使用していない時間の電気機器の電源OFF・工場内設備の節電・社内ポスターによる節電の呼びかけ・デマンドレスポンスによる工場内の電力使用抑制
廃棄物排出量 (責任: 管理部)	<ul style="list-style-type: none">・マイカップ、マイボトルの使用の呼びかけ・ミスプリントの裏紙利用・リサイクル量の拡大,高度化
上水使用量の削減 (責任: 管理部)	<ul style="list-style-type: none">・ポスターなどによる節水の呼びかけ

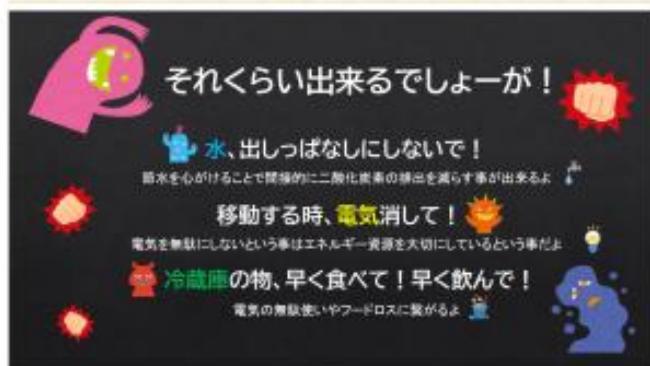
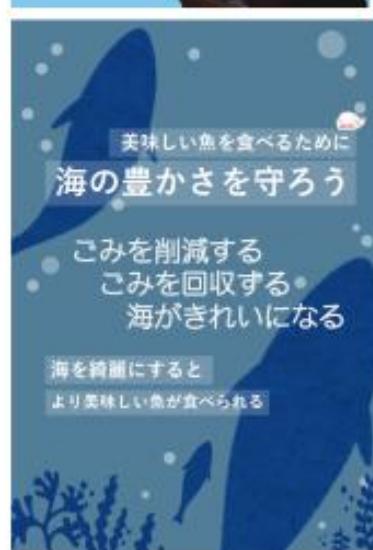
2024年度環境経営計画の評価と次年度の取組内容

取組結果 【○良好 △不足】

項目 (特段の記載があるものを除き通年実施)	判定結果	判定		次年度の取組内容
		理由	代表者評価	
オフィス電力使用量の削減 (責任: 管理部)	○	使用電力は削減されている為。	今後も無駄のない利用を推進し全体で取り組んでほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・不要時、休息又は昼休み時間の電灯の消灯 ・不要機器等の電源OFFの徹底
車両燃費の向上 (全社) (責任: 営業部)	○	意欲的に取り組んだ結果、安定して向上。	継続して安全でエコな運転を心掛けて頂ければと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・車内エアコンの適正な温度管理及び急発進、急ブレーキの禁止について社内周知をする(ポスター作成や電子掲示板の作成) ・燃費データの計測
工場用電力使用量の削減 (責任: 業務部)	○	使用した電力は削減されている為。	電力を使用する主要因である鉄の搬入が少なくなっていることもあり、使用量は減少出来ている。 電力利用量の効率化を図るため原単位を注視し、事務所でも無駄のない利用を心掛けましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化(夏季: 室内温度27°C、冬季: 室内温度20°C) ・休息及び昼休み時間における工場で使用している電気機器の電源のOFF ・工場内設備、照明及び冷暖房機器の節電 ・使用していない設備のこまめな電源OFF
廃棄物排出量 (責任: 管理部)	○	意欲的に取り組んだ結果。	ゴミ分別とエコキヤップ活動など継続的に活動してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・マイカップ、マイバッグの使用 ・従業員への分別の呼びかけ ・ごみ分別の啓発
上水使用量の削減 (責任: 管理部)	△	利用量が上昇してしまっている。現場従業員の増員が考えられる。	使用量が増加しているが、現場従業員による部分が考えられるため、今後も変化を注視して削減に取り組んでほしい。	・ステッカー等の貼り付けによる社員の節水活動の推進

社内ポスターの掲示に関して

節電、節水等を呼びかけるポスターを作成し、末端社員まで浸透するよう、エコアクション21の意識の醸成を行っています。



社会貢献活動：盲導犬募金

募金をお寄せいただきありがとうございました



Be...
Happy!

受領書

皆さまからの募金は、視覚障害者の積極的な社会参加を推進する盲導犬育成と無償貸与のために大切に活用させていただきます。

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 様



募 金 額 2,522 円

今までの累計額 10,830 円

2024 年 04 月 19 日



点線で切り取り、目隠しシールをはがし募金箱の前面に掲示ください

《御 礼》

盲導犬育成のための募金にご協力いただきありがとうございます。上記受領書の通り、市民の皆さまからの募金をお預かりいたしました。大切に活用させていただきます。

当協会は1967年に創立され、2022年8月10日に55周年を迎えることが出来ました。これからも一頭でも多くの盲導犬を育成するために、愚直な努力を重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

2024年 4 月 23日 公益財団法人 日本盲導犬協会
理事長 井上 幸彦



日本で活躍する盲導犬 836 頭 (2023年3月末)



環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係機関及び近隣からの違反の指摘、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

法的義務を受ける環境関連法規制は次の通りです。

(1/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物の排出者（事業者、市民）-排出事業者について記述	適切な分別、3Rの推進	○
		産廃収集運搬・処理業者との契約、許可証写し保管	○
		保管基準 ・産廃置場60cm×60cm以上表示 ・飛散・浸透防止 ・衛生管理	○
		努力義務（県条例で必須あり）産廃処理現場の定期的確認（他社に依頼也可）	○
		マニフェストの管理	○
	産業廃棄物の収集運搬、中間処理	排出者の管理表報告書の提出	○
		収集・運搬・処分等の基準	○
		保管基準の順守	○
		管理者の設置	○
		委託基準の順守	○
		契約締結	○
		マニフェスト管理	○
		処理基準の順守	○
		施設の維持管理	○
		帳簿の記載義務	○
		処理実績報告	○
		石綿の保管基準 覆い、囲い、梱包等	○
		特定施設事故時の処置、届出	○
		水銀使用製品産業廃棄物に係る新たな措置 ・適正保管（分別保管と掲示） ・委託契約書及びマニフェストへの記載	○

環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(2/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
特定家庭用機器再商品化法	家電4品目の購入・使用後の廃棄	廃棄者として適正な廃棄	○
小型家電リサイクル法	対象品目の処理	廃棄者として適正な廃棄 (パソコン、電話機、携帯電話、プリンターなど)	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (略称「フロン排出抑制法」/旧：フロン回収破壊法)	第一種特定製品のフロン類の回収・運搬	回収業者登録	○
		フロンの引取り・引渡し義務	○
		行程管理票の運用	○
		記録の作成、保存、報告	○
		「破壊証明書」「再生証明書」の交付・回付	○
	フロン機器所有者の責務	フロン機器の定期点検及び点検記録の保存	○
		一定量以上のフロン漏えい時のフロン漏えい量の事業所管轄大臣への報告	○
消防法	指定可燃物	届出、表示	○
	消防用設備（消火器）等	設置と維持管理 同上届出検査点検報告	○
労働安全衛生法	指定施設（フォークリフト等）	自主検査、特別検査の実施	○
	教育・研修	雇用時教育、特別教育、リーダー研修	○
	指定業務	就業制限（免許又は講習受講が必要）	○
	事故の発生、傷病の発生	監督署への報告	○
	作業	安全基準の順守	○
	測定及び記録	作業場の石綿濃度測定（年2回）	非該当
	事業場	衛生基準の順守	○

環境関連法規等の違法状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(3/3)

法規名称	適用条件	要求事項	遵守判定
古物営業法	古物を売買、交換、委託を受けて売買、委託を受けて交換をする営業を行うもの	許可の取得	○
		相手方の確認義務	○
		不正品の申告義務	○
		帳簿等への記載義務	○
東京都環境確保条例	ディーゼル車規制		○
	自動車一般		○
東京都アスベスト廃棄物の適正処理指導方針			非該当

代表者による全体の評価

メジャーヴィーナス・ジャパン株式会社 代表者 渡辺 弘三

1. 評価に必要な情報

- ・環境経営目標の実績
- ・2024年度環境経営計画の評価と次年度の取組内容
- ・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2. 代表者（代表取締役）によるコメントおよび評価

環境経営目標の実績に関して、8項目を1項目満点2点評価として、16点満点中11点となっています。目標の再設定をしてもよいかと思いましたが、現状達成項目は今後も維持し、未達項目として主要である原単位の変化を注視し、効率の良い燃料の使用を心掛けていただくとともに、社内で意識改善をすることで影響のあるものも多くあるため、啓発活動推進をこれからもお願いします。

八丁堀事務所においてはテナントビルのため自社にて電力会社の選定などが出来ず、かつ共有部の使用電力量も含まれるため、非化石証書を割り当てるにより二酸化炭素排出量をゼロにしましたが、引き続き事務所の節電に取り組むようお願いします。

3. 環境経営方針について

2023年4月に環境経営方針の見直しを行ったばかりの為、変更の必要性はありません。

4. 環境経営目標・環境経営計画について

搬入量と電力利用量は傾向と指標を基に、原単位効率を1%上昇目標として策定を実施してください。

年間リサイクル量の実績から目標を策定をしてください。

また、原単位が大きく変動したりしやすい場合には、変化原因が不明瞭になりやすいため原単位の求め方の見直しを行ってください。

5. 実施体制について

EA21事務局の誰が担当しても作業を進められるようマニュアル作成を推進して、業務の効率向上と分散を図るようお願いします。また、データの収集方法等が変更になった場合は適切にマニュアルへ反映し、最新状態を維持できるようお願いします。